

飯南町立赤名小学校で「心に残る文化財子ども塾」を行いました

1. 活動の概要

5月14日(月)、飯南町立赤名小学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催し、島根県文化財課世界遺産室の職員がおじゃまし、元気な6年生 14名のみなさんと楽しく活動しました。

はじめに、赤名の歴史について学習しました。講師から、飯南町内にはたくさんの遺跡や文化財があることを聞き、みんなびっくりした様子でした。そして、江戸時代の丁銀(実物)をじかにさわって興奮。教科書には書いてない身近な地域の歴史にふれることができました。

続いて、金属鏡作りを体験。最初に古代の鏡について説明を聞き、グループに分かれて鏡作りを始めました。グループのみんなが声を掛け合いつつ、鋳型に金属を流し込む際には協力し合いながら作成していました。鋳型から鏡を取り出した後は、みんな一緒に鏡を磨きました。中には職人技のようにピカピカに磨き上げる児童さんもいて、周りからは羨望のまなざしを浴びていました。みんな一生懸命、鏡を磨いていましたが、紙やすりや研磨剤といった便利な道具を使っても大変な作業であることが伝わったようで、古代の鏡作りについて興味を抱いた様子でした。

赤名小学校の6年生のみなさん、ありがとうございました。

2. 活動の様子



地元(赤名)の歴史について学習



江戸時代の銀の貨幣を触ってみよう



(体験前に)銅鏡にくわしくなろう



低融点金属を溶かします



金属がドドロロに溶けたら鑄型に流し込みます



やすりで表面を磨き上げます



みんな一生懸命磨いています



最後にみんなで記念写真

3. 子ども塾を終えて

1) 児童の皆さんのアンケートから…

- ・銅鏡作りがとても楽しかった。次は銅剣を作りたい。
- ・鏡磨きが一番心に残った。古代人は鏡をどうやって磨いたのか知りたい(複数)。
- ・昔の人の活動を体験できてよかった。三角縁神獣鏡以外の種類の鏡も作りたい。
- ・銅鏡作りを通して、昔の人の大変さが分かった(複数)。
- ・石見銀山の歴史や文化を知りたい(複数)。
- ・意外と飯南町にも遺跡があってびっくりした。

2) 担任の先生から…

- ・地元(赤名)の遺跡や銀山街道のことを聞いてよかった。
- ・銅鏡作りも本格的で、古代人の知恵や技術に触れることができた。
- ・パワーポイントだけでなく、実物に触れることで子供たちの興味がわくことを改めて感じた。